

さんがくだより

NO8

発行 平成28年11月24日

11月は「なかよし月間」でした

「身の回りの生活の中で見られるさまざまな差別現象に気づき、それらを自分の問題として考え、差別に立ち向かう実践的な態度を養う」ことを目的に毎年行ってきた月間です。今年も以下のような行事を行いました。

人権についての校長講話 11/9(水)

『桃太郎』の話をして。この話を知らない人はいませんね。桃太郎が成敗したのは鬼ですね。桃太郎の話をふり返ってみましょう。

桃から生まれた桃太郎。どんどん大きくなって、鬼退治に行きます。犬、猿、雉をおともにして鬼退治に行きました。鬼ヶ島に向かいます。鬼ヶ島に着いたら鬼たちを退治してお宝をもって帰りました。これがみなさんの知っている桃太郎の話です。ここでは桃太郎はとても善い人です。

でも、あれと思った桃太郎の話があったので紹介します。鬼ヶ島の鬼の立場からの話です(紙芝居)。鬼達は平和に暮らしていました。そこへどこからか見知らぬ船が近づいてきました。鬼たちがこわいな一と思っていると、桃太郎がいきなり襲って来ました。何も言わずに鬼たちは乱暴され、財宝を奪われてしまいました。鬼達は泣いています。

さて、この場合は鬼たちにとって桃太郎はどういう人でしょうか？悪い人になりますね。みなさんどう考えますか？桃太郎は善い人ですか？桃太郎は悪い人ですか？考えを聞かせてください。(子どもたちはそれぞれ拳手)どっちもどっちと言えないですね。それは立場によって考えが違って来るからです。

知っておいてほしいのは、『立場によっていろいろな考え方がある』ということです。相手の立場になって見ると違います。そのためにはどうするか。桃太郎がいけないのは突然行って乱暴をはたらいた

ということです。まず、お互いに話を聞きましょう。話を聞いたら今度は「ほんとにそれはいいのかなー」とか「こっちはどうなのかなー」とか自分で考えてみましょう。だれだれさんが言ったからとか、だれだれさんがやっているからとかではダメです。自分でよく考え判断してほしいと思います。その中で大切な事は、相手の立場がわかることです。話し合っているうちに出てくるのが『思いやり・譲り合い』です。これがないとけんかばかりです。お互いを理解し、思いやり・譲り合いができる人になってほしいと思います。

この人権週間中は『やさか』を『やさしい心・さべつしない心・かんしゃする心』のように考えます。この『やさか』の心を大切にしてくだ

さい。そうすると桃太郎さんの顔もいい顔になってくるし、鬼の顔もいい顔になってきます。

なかよし月間は、人権月間とも言います。人権とは人が生きていくために大切なことです。今まで以上に友だちと仲よく、友だちの良さを発見してください。

なかよし集会(焼き芋) 11/14(月)

6月に植え付けたさつまいもを10月12日に掘りました。今年は昨年よりたくさんの芋が収穫できました。採れたさつまいもを焼き芋にしてみんなで食べました。焼けるまでの間は全校で「どろけい(けいどろ)」や「バナナオニ」(鬼ごっこ遊び)をして仲よく遊びました。その後、縦割り班で焼き芋を食べました。一人に2本配られました。ほくほくしていておいしかったです。



縦割り班清掃・縦割り班給食 11/14(月)～11/25(金)

1年生から6年生までの縦割り班(異年齢の子どもたちの班)で清掃や給食を行っています。給食の配膳を協力して行き、楽しく話しながら食べる姿がありました。また、清掃では高学年の子どもたちが低学年の子どもたちに清掃の仕方を教えている姿もありました。普段から学年を超えた交流のある八坂小の子どもたちですが、さらに交流が深まるとともに、『やさしい心・さべつしない心・かんしゃする心』を実践するいい機会になりました。

人権集会 11/7(月)

なかよし月間の一環として人権集会が行われました。穂高在住で、アメリカ出身のモリスさんと牧子さん(東京出身)夫妻に来ていただき、国際理解に関わるお話をうかがいました。肌の色が違うというだけで差別されて悲しい思いをしたこと、差別に負けない強い心を持つためにスポーツにチャレンジしたこと、日本人が英語を理解できずに苦勞するのと同じで外国人も日本語が通じずに苦勞していること、相手に思いを伝えるのは上手く話せるかどうかではなくて伝えたいという気持ちが大切であることなどのお話をお聞きしました。異文化の相手を理解し、思いを伝え合うことの大切さを学んだ人権集会でした。



郷土学習交流会



11月10日(木)に郷土学習交流会がありました。これは郷土の学習を通してふるさとへの理解を高めることを目的として、八坂公民館の主催で行っている行事です。今年は「おやきづくり」「そば料理」「干し柿作り」「茶道」「わら細工」「竹細工」の6つの講座で学習しました。「おやきづくり」ではいろいろの部屋の囲炉裏を使い灰焼きおやきを作りました。そば料理は薄焼きやそばかりんとう、そばがきなどを作りました。「干し柿づくり」ではたくさんの柿の皮をがんばってむき、家庭科室の外につるしました。「茶道」では作法についての説明を聞いた後、実際にお茶をたてておいしくいただきました。「わら細工」はお正月に使うおやすを作りました。「竹細工」では竹を使って弓矢を作り実際に矢を射ってみました。

どの講座も講師の方と交流しながら楽しく実施できました。

信頼される学校をめざして

昨今、教職員による飲酒運転等の事案が2件発生し、保護者の皆さん地域の皆さんに多大なご心配をおかけし、申しわけなく思います。本校では平素より、児童生徒・保護者・地域から信頼される学校をめざして、非違行為防止に関する研修を行っています。今回の2件の事案をうけ飲酒運転の防止に向けた研修を再度行いました。今後も非違行為防止にむけて真摯に取り組んでまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査の結果と取組

4月に6年生を対象として全国学力・学習状況調査が実施されました。国語では漢字の読み書きが苦手な児童が多いこと、読むことについては個人差が大きいことがわかりました。算数は図形の領域は得意であるが、文章題や式の意味を読み取ることを苦手としている児童が多いことがわかりました。このような結果に対し、以下のような取り組みを行っています。○はげみの時間を利用したドリル学習等による基礎的・基本的学力の定着。○協動的な学習(話し合い活動など)の場や自分の考えを組み立てる場を大切に授業の工夫。○「読み取る力」「書く力」を伸ばすための家庭学習。

児童によってそれぞれの課題は異なりますので個人への支援を大切にしながら、今後も学力の定着を図ってまいりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。